

市長との懇談会に出席して

隠崎美和子

今年は国際婦人年、中年年です。

県では婦人懇話会を作り、一応知事に対して懇話会からの答申が示されています。しかし、長崎市として、この問題とどう向き合っていくか、という問題と

現在の市役所の中ではその御まを

まっぴらと言っているところが多い

のです。官公庁に於ける女性の地位の

向上については、民間に於ける女性の

地位向上へとつながる日本の実状にそ

ってのみならず、行政側で婦人として

女子の雇用を促進し、働き続けられる

環境をつくらねばならない。また、婦人問題は究

極的に老人問題であると言われていますが、その老人問題についての見解を知りたい。ということで、年間計画に予定されていた「市長との懇談会」と十一月例会にもつことができました。お忙しい中、十一月例会に出席されることで婦人問題をより一歩進めていただきたことと念にお念いすること、幸いです。

議題一、婦人問題対策の設置

・婦人の健康増進

・婦人の生活向上

二、婦人会館建設（仮称）

・その中に、婦人会館、子育て支援センター、婦人の活動会館を設け、一元化

三、老人問題（介護保険と単身老人老後対策）

・老人区画整理（無料化）を引き上げ（8割）

四、ホームヘルパー

・男の雇用も必要

五、生涯教育（後期の需要に答えてほしい）

・公民館への夜間図書館

・夜間大学・講座を開く

（得に婦人問題や社会に目を向ける講座）

六、国際婦人年、中百年に於いて、平和の施策を以て
成人式、公民館を^{利用して}の男女平等の
啓蒙を以てかる

人の

行政に個人の問題を加。仕事ももつ母親のために
病院保育所(軽い病気で仕事を休まないで済む様に)
も必要。独身女性の高令化に伴う病院とホームとを
連絡した空が必要。老人を毎日あつかうける場、
そこでリハビリができれば老人が家族と生活できる喜
びが得られ、家族も安心して働くことができる。そして
夜間図書館、夜間大学、……と細かい内容にまで話は
入り二時間半では、金員発言、納得とまではいきません
ですが、もしかたらこれから徐々にという希望はもてら
かと思われました。

「市長との懇談会」「市への要望」はこれから、まだく
録けてゆきますように!

なる。その差がますます、え、かり、種々の社会の中で、差別となすゆく過程が分る。それでも、その差は私自身には何も感ぜられず、毎日が過ぎてゆく。「私が家庭の中で仕事をして、夫以外で仕事をしている」と思うと、私かお茶を入れ、掃除をするのに、何の抵抗もなく、疑問もない。——、このお茶を入れることは、職場の中で「だからお茶を入れるのは女の仕事」となって、男らしくとえアルバイト学生でも——なくていい。女が自分の仕事の手をやめて、お茶を入れるなくてはならないとなすいることもあるというのを知る。

そして、そのことはまた、仰いている女の中にも浸透して、
いんばに疲れていても家庭に帰れば「これは女の仕事」こ
して服を洗い、食事の用意をする。仕事は途中でめそ
も保育所へ迎えに行かぬはならない。出張で、転勤が等
とこんでまい、考えられぬものとなさる。それでも、奥
味をもち、また、求められて仰いている職場ならともかく、低
賃金、何年勤めようと同一様の時給給、続けてゆきに

成長がみづめられるようになる、そのきっかけとしてこの
会が続いていくといたし、私の小さな社会参加となそ
いく。

DEU.事務局より DEU.

★中央公民館図書室から

- ・女が勉強したいとき読む本 南 知子
— あはれのために いた方法のみづから —
- ・野の女 永畑 道子
- ・文芸復興の才女たち 円地 文子
- ・日本女性史 笠原 一男
 - 一、めづるめく王朝の女
 - 二、教訓の世と女の良歡
 - 三、彼岸に生きる中世の女
 - 四、義理と人性にまぐ女
 - 五、抵抗に目ざめる女
 - 六、近代女性の栄光と悲劇
 - 七、近代の女性群像

・フランス女性の歴史 ドウユー・A.

・婦人問題辞典

婦人問題辞典刊行
委員会

・中国女性史 太平天国から現代まで

・人物婦人運動史 小野 和子

・親と子—女の庶民史— 鎌田 久子

・近代日本史の中の女性 金原 左内

・自分と創る女たちのために 小室 四代子

・江戸後期の女性たち 岡 民子

・母と娘の関係 上・下 フライデー

・自由と解放のあゆみ 松本 夏枝

・親と子—母親たちの自分史— わい 小編

・スウェーデン女性解放の手引 ハイグ・M.

・離婚する前に読む本 室伏 哲郎

★一月例会は新年会の予定です。

★昭和五五年度後期分会費とお預けします。